# AIの活用による英語教育強化事業概要 【行田市の取組】

## AI × 英語

文部科学省の「ＡＩの活用による英語教育強化事業業」の採択を受けて実践。本市の課題である**「話すこと」**を中心とした幅広いＡＩ活用を実践するとともに、個別最適な教材の作成等も含め、教師や外国語指導助手（ＡＬＴ）による指導とＡＩとのベストミックスとなるモデル授業を構築する

### 事業スキーム

文部科学省

委託【TOPPAN株式会社】

**事務局（プラットフォーム）**
- 有識者等によるモデル校やAI英語活用リーダーへの指導助言
- オンライン上の情報交換スペースを構築・運営
- 成果と課題の分析・発信

再委託【全国35自治体(予定)】

行田市教育委員会

AI英語モデル校【10校】
- 市内全中学校8校
- 小学校2校(西・泉)

各モデル校等のAI英語活用リーダーがAIを活用した英語教育を普及

AI英語活用リーダー【40人】
- 中学校英語教員(17人)
- 小学校英語専科教員(2人)
- 学校DX推進教員(20人)
- 教育委員会指導主事(1人)

市内全小・中学校

### 行田市の取組

提携

AI英語学習アプリ：Terra Talk（ジョイズ株式会社）

特徴
- 中学校教科書に対応〈デジタル教科書と同じ音声を使用〉
- 発音クイズや音読チェック等、多様なエクササイズを収録
- 場面や話題を選択し、AIとの英会話ができる機能を搭載
- 発話の文字化やキーワードの表示等による対話補助
- 生徒の発話を録音・蓄積し、流暢さや即答度、正確性を判定

授業

家庭学習
いつでもどこでも壁打ち対話練習

課外活動
イングリッシュ・サマーファン
ふるさと自慢英語弁論大会

パフォーマンステスト
各学期に1回英語力を確認

あらゆる場面でAI活用を実践

- 個別最適な学びの実現
- 学習意欲の向上
- 教員・ALTの指導力向上

**AIの活用による確実な英語力の向上**
**～ 世界に飛び出す行田っ子を育成 ～**

| 成果指標 | 単位 | R5 | R6(未確定) | R7目標 | R8目標 | R9目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| CEFR A1(英検3級相当)以上を達成した中学生の割合 | % | 34.2 | 37.7 | 45.0 | 55.0 | 60.0 |